（やさしい日本語）

**余震について**

余震**(**よしん**)**＜後**(**あと**)**で来**(**く**)**る地震**(**じしん**)**＞に気**(**き**)**をつけてください

地震（じしん）から１ヶ月(かげつ)が過(す)ぎました。

でも、余震(よしん)が続(つづ)いています。

初(はじ)めの大(おお)きい地震(じしん)の名前(なまえ)は本震(ほんしん)です。

その後(あと)で来(く)る地震(じしん)の名前(なまえ)は余震(よしん)です。

余震(よしん)は本震(ほんしん)から時間(じかん)が経(た)てば経(た)つほど少(すく)なくなります。

でも、これからもときどき大(おお)きい余震(よしん)があるかもしれません。

本震(ほんしん)があった場所（ばしょ）から遠(とお)くても余震(よしん)があるかもしれません。

余震(よしん)に気(き)をつけてください。

○壊(こわ)れた家(いえ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。壊(こわ)れた家(いえ)が余震(よしん)でもっと壊(こわ)れるかもしれません。

○崖(がけ)の近(ちか)くに行(い)かないでください。崖(がけ)が余震(よしん)で崩(くず)れてたくさんの土(つち)やとても大(おお)きい石(いし)が流(なが)れてきたり上(うえ)から落(お)ちてきたりするかもしれません。

○大(おお)きい余震(よしん)があったら、海(うみ)の近(ちか)くから逃(に)げてください。大(おお)きい余震(よしん)で津波(つなみ)が来(く)るかもしれません。津波(つなみ)が来(く)るとき、津波警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)でお知(し)らせします。大(おお)きい余震(よしん)があって、警報(つなみけいほう)と津波注意報(つなみちゅういほう)が出(で)たら、海(うみ)の近(ちか)くからすぐに逃(に)げてください。